

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人二本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013
箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp

◆ 目次 ◆

- 東日本大震災復興支援イベント
- 東日本大震災被災地とつながる総合学習 「子どもたちの声」
- お知らせ



東日本大震災復興支援イベント

～3.11を忘れない～

3月15日（土）みのお市民活動センターにて、市民活動フォーラムみのお主催による東日本大震災復興支援イベント ～3.11を忘れない～が開催されました。

箕面ユネスコ協会はパネル展と物産展に参加いたしました。

箕面ユネスコ協会が取り組んできた復興支援活動を紹介した2枚のパネルは、3月11日（火）から15日（土）までみのお市民活動センターで展示され、活動センターを訪れた人たちに見ていただくことができました。



11時から、タッキー816みのおエフエム「みのたんらじお」という生放送の番組で、パーソナリティーの繁田麻衣子さんからインタビューを受けました。箕面ユネスコ協会の活動紹介や今回参加している物産展についてのPRを7分程の時間でしたが、お話をさせていただきました。

(インタビューを受ける前田ひとみ理事、笑顔が良いです～(*^-^v))

パネル展と物産展



12時から販売予定だった物産展は、商品が届かないというアクシデントがあり、ハラハラ致しましたが、2時半より無事に販売開始することができました。

気仙沼の大漁旗がひときわ目立つブースに人が集まりだすと、さんまの燻製・めかぶ茶・お菓子などが次から次に売れ、5時前には完売となりました。今回用意した商品はどれも私たちスタッフが一度食べて、美味しかったものばかりだったので、「被災地のものだから買ってください。」ではなく、「美味しいから買ってください。」と自信をもって勧めることができました。

買ってくださる方々も、「帰って食べるのが楽しみだわ〜。」「めかぶ茶好きやねん。」と笑顔がみられました。これからも食を通してこうした自然なスタンスで復興支援ができれば良いなと感じました。



(スタッフで準備中)

■人権啓発学習会「フクシマを記憶し、語り続ける」

3時から、箕面市・箕面市人権啓発推進協議会主催の人権啓発学習会「フクシマを記憶し、語り続ける」が開催され、箕面ユネスコ協会・坂口会長がコメンテーターを務めました。



♪「聖母被昇天学院中学校
校高等学校の皆さんの
歌声、素敵でした！」



♪みのお市民活動センター 多目的室で開催、
講師：今野由喜さん (NPO 法人つながっぺ南相
馬理事長) 福島の実状や課題など話して頂きました。

(報告:前田 ひとみ)



*箕面ユネスコ協会の活動経過報告 N03

～ 学校の応援団として 東日本大震災被災地とつながる総合学習 ～

震災から3年が経ち、その記憶が薄れていく中で、これまで、本会は東日本大震災被災地と教育現場をつなぐ取り組みをしてきました。今大事なことは、「被災地の問題や課題を自分こととして捉えること、被災地を忘れない」、「生きること、命のことを考える」などの教育活動へのサポートを地道に続けていくことです。



箕面ユネスコ協会広報誌 vo2でご紹介しました箕面市立止々呂美小・中学校（とどろみの森学園）5年生から（この4月から6年生）さらに、箕面ユネスコ協会広報誌 vo2・vo3でご紹介しました箕面市立豊川南小学校の4年生（この4月から5年生）から手紙が届きました。

《 子どもたちの声 》

★とどろみの森学園 「めざせ！止々呂美ボランティアズ」

♪東日本大震災ボランティアや今、どうしているのかとかの話をしていただきありがとうございました。ボランティアの仕事は、人を気づかって、助け合ったりにもつを運んだりするのでボランティアの大事さが分かりました。話を聞いた後に防災チェックリストを作りました…

♪話を聞いて、今防災のことを考えないといけないということが分かりました。一番おどろいたのは、人より水の力はすごいということそして、止々呂美ボランティアズになりたいと思いました…

♪地震とかテレビでみて…自分は怖くて何もできないかと思いました。でも話を聞いて、今いる場所で何ができるかを考えないといけないと思いました。

★箕面市立豊川南小学校 「大切ないのちの学習」

♪仙台空港のことや気仙沼の皆さんのことをお話してくれてありがとうございます。私の中で忘れられないのは箕面の4中生がしんさいでよごれた写真をきれいにみがいているところです箕面でもそんなにやくにたてるんだなと思いました。

♪いろいろおしえてくれてありがとうございます。わたしはだいしんさいのことを忘れません。

♪四中の生徒が写真をあらったり、高校生もボランティアしていると言っていたので、わたしも何かボランティアや何かやくだちたいと思いました。

♪津波が来て、ゆたかな町が一しゅんで消えてしまったことをとてもかなしく思いました。ぼくはまた話に来てほしいです。

(報告:坂口一美)



